

# 教宣 せぶん

株主総会総行動6日目

## 黒塗りの高級車

6日目となる23日、この行動のコアとなる株主総会が開かれました。詳細については、本部ホームページやどぶいたニュースにアップされると思いますが、当社経営者が見せる「外で言っていることと中でやっていることが違う」という二面性の姿勢が、如実にあらわれたと思った現象がありましたので、お伝えします。

総会が始まる30分前くらいのことだったでしょうか、会場内に着席し、しばらくすると正面のスクリーンにマングローブのコマーシャルが流れてきました。隅社長が東南アジアの現地でマングローブを植えている映像も出てきました。旧東京海上社は合併する以前からTVコマーシャルを使って、当社が地球環境に配慮している企業であることを宣伝していました。いまでこそ、人類のテーマとも言える「地球環境」に焦点をあて、地球にやさしい企業とコマーシャルする企業が増えましたが、旧東京海上のマングローブを使ったTVコマーシャルはまさにそのハシリだったと言えます。

株主総会の会場となるパレスホテルは当社本店から距離にしておよそ200メートル、歩いて1分か2分です。しかし、出席する当社の経営者はみな黒塗りの高級車で会場入りしています。CO<sub>2</sub>の排出を少しでも抑えるために東南アジアまで行ってマングローブを植えている企業の経営者が、わずか200メートル足らずの距離を、歩かずに、それも排気量のきわめて大きい自動車ホテル入りしています。この事実につれた時、どれだけ真剣にこの企業の経営者は「地球環境」のことを考えているのか、と疑いたくなりました。あれだけ優秀であると言われている役員の方々が揃っていて、どうしてこんな単純な疑問や矛盾に誰も気がつかないのでしょうか？

人権を尊重する企業だとうたっても差別を繰り返す、法令順守を経営方針に掲げても判決・命令に従わない、マングローブを植えていてもわずか 200 メートルの距離を歩かない。「断腸の思い」と発言しても労使交渉には一切顔を出さない。

やはりこの企業の経営者の心根には、大いに問題があるようです。